

対ウクライナ支援概要

平成27年5月1日
在ウクライナ日本国大使館

1. 有償資金協力:1,690 億円(1.69 十億ドル)

ボリスポリ国際空港拡張計画 190.9 億円(190.9 百万ドル)	キエフ・ボリスポリ空港ターミナル D の改修・拡張工事 (2004)
経済改革開発政策借款 400 億円(400 百万ドル)	財政再建のための資金供与(2014, 2015)
ボルトニッチ下水処理場改修計画 1,100 億円(1.1 十億ドル)	ボルトニッチ下水処理場の改修(2015)

2. 無償資金協力:73 億円(73 百万ドル)

一般プロジェクト無償資金協力 17.7 億円(17.7 百万ドル)	・オフマディット小児専門病院への医療機材供与(2001) ・中部・東部地域の小児病院への医療機材供与(2006, 2007, 2014)
ノン・プロジェクト無償資金協力 16.5 億円(16.5 百万ドル)	・中小企業への生産機材供与(2005) ・チェルノブイリ原子力発電所事故被災者等の支援のため の医療機材供与(2013) ・東部復興支援のための機材供与(2015)
草の根・無償資金協力 6.8 億円(6.8 百万ドル)	医療機材供与及び学校の改修等(全 91 件)
文化無償資金協力 5.3 億円(5.3 百万ドル)	オペラ・バレエ劇場, 博物館, 芸術学校, 音楽学校等の 改修・機材供与等(全 15 件)
緊急無償資金協力 0.9 億円(0.9 百万ドル)	・西部地域供水に際する支援(1998, 2008) ・国内避難民の人道状況改善のための支援(2014)
国際機関を通じた支援 26 億円(26 百万ドル)	・OSCE・欧州評議会を通じた民主化支援(2014, 2015) ・UNDP, UNICEF, IOM, IFRC を通じた東部復興支援 (2014, 2015)

3. 金融支援:580 億円(580 百万ドル)

アンタイドローン及び輸出信用(1995):200 億円(200 百万ドル)
輸出クレジットライン設定(2011):80 億円(80 百万ドル)
日本貿易保険(NEXI)によるクレジット・ラインの設定(2014):300 億円(300 百万ドル)

4. グリーン投資スキーム(GIS)

・警察車両として、燃費効率の優れた日本のハイブリッド車 1,568 台を導入
・ウクライナにある学校・病院等の公共施設(374 施設)の窓枠、壁及び屋根の断熱性の向上
・キエフ・メトロの車両 115 両を電力消費効率の優れた日本技術によって更新

5. チェルノブイリ・核不拡散関連支援:205 億円(205 百万ドル)

チェルノブイリ・シェルター基金 116.3 億円(116.3 百万米ドル)	チェルノブイリ原子力発電所におけるシェルター建設等
原子力安全基金 45.9 億円(45.9 百万米ドル)	チェルノブイリ原子力発電所の使用済み燃料中間貯蔵施設の建設等
非核化支援協力 22 億円(22 百万米ドル)	核物質の防護・管理等
人道支援 21 億円(21 百万米ドル)	チェルノブイリ原子力発電所事故の被災者への医薬品・医療機器の供与等

6. 技術協力:80 億円(80 百万米ドル)

JICA 実証事業/NEDO 事業実施可能性調査 79 億円(79 百万米ドル)	・ハルキウ州熱供給公社へのバイオマス・エネルギー施設の導入(2015) ・キエフ市熱電併給施設高効率化支援(FS)(2015) ・キエフ・メトロ省エネルギー事業(FS)(2015)
日本・EBRD 協力基金による技術協力支援 4,000 万円(400 千米ドル)	アフリカ豚コレラに対するリスク軽減等
研修員受け入れ:549 名, 調査団派遣:132 名, 専門家派遣:59 名(2014 年 3 月末)	
ウクライナ・日本センター(2006-2011)	

合計:3,048 億円(3 十億ドル)

(※ 1ドル=100 円, 1ユーロ=140 円で算出)